



自治的諸活動の充実!!

今年度、本校が特に力を入れている活動の一つに「自治的諸活動」があります。

子ども達が、入遠野小をよりよくするために、学校の問題点や課題について話し合い、今後の取組について考え実践するものです。

本校では、その中心となる話し合いが「代表委員会」になります。昨年度までは、学期に2回程度の開催でしたが、本年度からは2ヶ月に1回の開催となり、意見を出し合っています。いわば入小の国会です。代表委員のメンバーは、6年生を中心とした委員会の代表者と各学年の代表者（4年生以上）です。

一昨日（11月19日）今年度5回目の代表委員会がありました。各学年から出された反省点は、

- 低学年を中心に、廊下を走っている児童が多い。
- 大縄をやっている人が少ない。
- 昼休みに遊びに夢中になり、掃除の準備に間に合わない人が多い。

というもの。議長の6年生の進行で、どうしたら改善できるかを話し合い、全校生に伝えます。残念ながら一昨日は時間がなく、意見がまとまらず本日に持ち越しとなりました。しかし、こういった話し合いを通して、学校をよい方向に変えていく、自分たちの住みよい環境を自分たちで作りに出していく姿勢は、何ものにも変えがたい姿です。もちろん、そこは小学生ですから経験もアイデアもまだまだ足りません。自分の意見を上手に伝えられない児童もいます。ですから、担当の教師のアドバイスや、各クラスの担任との相談の場も必要となります。

4月から子ども達は確実に成長しています。自分から・自分達で・自分の学校をよりよくする意識を持ち始め、そのためには、多少の我慢やルールを守ることにも必要なことも理解しています。

朝夕の集団による登下校や、様々な場面での縦割り班活動では、上学年が下学年の面倒を見たり、先頭になって進めたりする逞しさも見られるようになってきました。



<代表委員の面々>



<代表者による発表>

～入小の子どもを犯罪やトラブルから守るために!～

先日実施したアンケート結果から、本校でも多くの子ども達が携帯電話を所有している実態が明らかになりました。本校では、小学生には携帯電話は必要ない物として子ども達にも指導し、家庭にもお願いしてきました。キッズ携帯などは、家庭の事情で連絡の都合上、所持させることはやぶさかではありませんが、スマートフォン等は小学生には必要の無いものと考えています。

何かと便利なスマートフォンですが、その操作（ゲーム・メール・ライン）に割く時間、処理しきれない情報量、メールのやり取りから来る友達とのトラブルなどを鑑み、小学生には時期尚早と考えます。実際、近隣の学校ではトラブルが続出しています。

学校便り「往生山」では、今後、数回に渡り継続して話題にしていきます。事案をもとに、SNS やスマートフォンとの上手なつきあい方についても保護者の皆様と考えていくことで、入小の子ども達が、犯罪やトラブルに巻き込まれないよう努めてまいります。ご家庭でも引き続きご協力お願いいたします。

